

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権メッセージ】	全学級で人権メッセージに取り組み、各学級3名のメッセージを人権メッセージコンクールに出品した。各学級で人権とは何かを指導し、児童一人ひとりが、人権について考え、自分の大切さとともに他の人の大切さを深めるようなメッセージを作成することができた。
	成果 過去の受賞作品を参考にすることで、いじめ、男女平等・参画、ハンディキャップなど人権に関わる様々問題について考えることができた。また、自分たちと同年代の児童の受賞作品に触れることで、人権がより身近なものであり、自分自身に関わるものだと意識することができた。
	課題 「人権」をテーマに全学級で取り組んだが、高学年に比べ、低学年には難しく、負担がかかってしまった。担任だけでなく、保護者の協力も必要である。低学年向けには、発達段階を考慮した形で人権について考える手立てが必要だと思われる。
2 実践2 【いじめゼロ集会】	ボランティア委員会を中心にリモートでいじめゼロ集会を開いた。「いじめとは何か」「いじめと犯罪」というテーマを中心にスライドを作成し、全校児童に発表した。また、事前に各学級でいじめについて考え、いじめゼロスローガンとして作成したものも紹介した。
	成果 いじめの定義や新潟県警のいじめ防止動画を引用することにより、いじめは犯罪につながるという意識付けができた。いじめ＝犯罪という感覚をより強めることができた。今までの自分の行動を振り返り、見直す会話が児童間で見られた。また、見て見ぬふりもいじめにつながるなどの発言が出るなどした。
	課題 開催時期が1月ということで、いじめゼロスローガンを作ってから、各学級で実践できる期間が短くなってしまっている。より早い段階（5月頃）に開催することで、年間を通してスローガンを意識した行動や学級作りができると考えられる。